

パニック時対応や介助法サポート

The screenshot shows a navigation bar with 'うえぶサポ' and 'うえぶサポのサポートブック' (Support Book). Below it are tabs for '登録内容変更' (Registration Content Change), '公開設定' (Publication Settings), and '携帯用読易ブック' (Mobile-friendly Reading Book). A sidebar on the left lists categories like '動作' (Action), 'パニック・かんしゃく' (Panic), 'おも・物語' (Story), 'アレルギー' (Allergy), 'てんがん' (Tinnitus), '水分補給' (Hydration), 'おやつ・食事' (Snacks/Meals), 'コミュニケーション' (Communication), '障害付け性' (Assistance), and '資金上の悩み' (Financial Troubles). The main content area displays a section titled 'パニック時対応【パニック・かんしゃく・発作・こだわり】' (Panic Response [Panic, Convulsions, Obsessiveness]). It includes a list of '対応' (Response) items such as '耳をふさいで『あー』と大声を出しながら走って逃げよう' (Cover your ears and run away shouting "Ah~"), '床に寝転んでけぞり、声をあげて泣く' (Lie on the floor and cry out loud), 'オートバイ、工事現場、駅跡跡の音を聞かせると泣かなくなる' (Play sounds from a motorcycle, construction site, or train tracks to stop crying), and '手をつないで『大丈夫』と声をかける' (Hold hands and say "It's okay"). There is also a note at the bottom: 'このページはお子様用ではありません。保護者のみが見られるようにしてあります。' (This page is not for children. It is designed so only parents can see it.).

ネットサービス公開中

発達障害のある人を支える方法を、周りの教師ら支援者がパソコンなどから手軽に確認できるインターネット上のサービスを大阪市の会社が開発、無料で公開している。

自閉症など発達障害のある人は突然、パニックを起こして周囲から孤立してしまうことがある。こうした事態を防ぐため、本人の受診状況やパニックの際に必要なサポート内容などを周囲に知らせる

ための冊子「サポートブック」があり、これまでも利用されてきた。アドレスとパスワードを伝えれば、必要な情報を閲覧してもらうことができる。どこまで情報を公開するかの設定も可能だ。同社は従業員6人のうち4人は障害者を雇用しており、「困った立場に

今回、システム開発会社の奥進システムが作ったのが、電子版のサポートブック「うえぶサポ」だ。

パニック時の周囲の対応方法やトイレでの介助の仕方など、具体的な状況ごとに記入。最大でA4判32ページ相当の情報を、携帯電話からでも手軽に更新したり確認したりできる。

家族は、IDとパスワードで

うえぶサポのホームページ(<http://support-book.jp/>)から登録できる。(高橋健次郎)

うえぶサポの画面(サンプル)